



盛岡さんさ踊り

さんさ踊りは藩政時代から受け継がれる踊りで、今ではすっかり盛岡の夏のメインイベントとして市民の中に定着しています。祭りが近づく、市内であちこちから練習の太鼓が鳴り響くようになり、毎年8月1〜4日に開催され、町内、職場、学校と様々な団体が参加して、4日間で240余りの団体、踊り手の数は2万人超、太鼓は世界一の1万個超、笛は約2千人で参加者総数は3万4千人を数えます。



チャグチャグ馬コ行進行事

古来より、農耕にかかせない家畜であった馬の勤労を感謝する祭りで、大型の優秀な馬「南部駒」の産地として知られる南部藩において日頃の労働の感謝の意を込めて、旧暦の5月5日に村民が鬼越前神社に馬の無病息災を祈願したのがチャグチャグ馬コの起源とされています。百頭を超える馬が滝沢市の鬼越前神社から盛岡市の盛岡八幡宮までの約15kmの距離を鈴の音を響かせながら4時間かけて練り歩きます。現在では、より多くの人が参加しやすいよう、6月の第2土曜日に開催されています。



【うるま市・盛岡市中学生交流事業（盛岡市）】



【盛岡さんさ踊り（うるま祭り）】



【うるま市・盛岡市中学生交流事業】

